

ハガ遺跡

辛川あかり

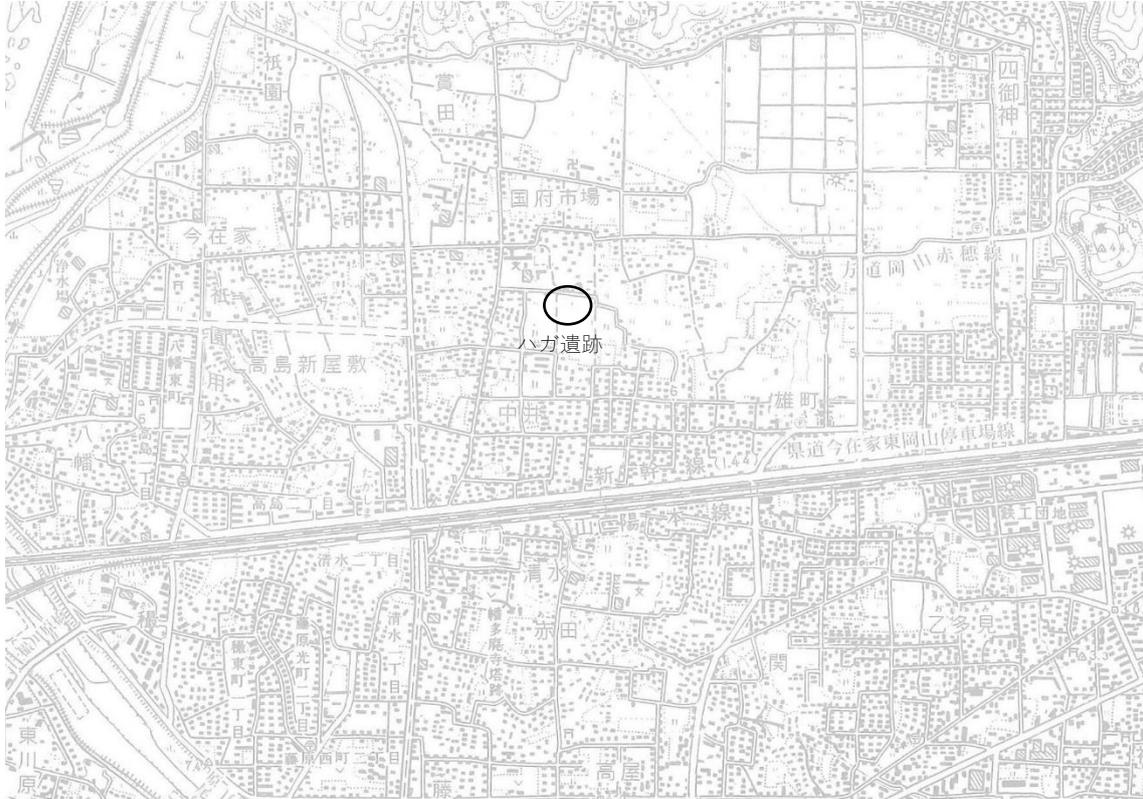


図1：遺跡の位置（S = 1 / 25,000）

【遺跡の概要】

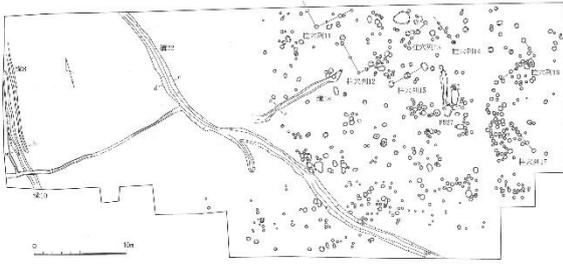
ハガ遺跡は岡山市中区国府市場に位置する備前国府関連遺跡の一つである。岡山市立高島小学校のプール及び敷地擁壁新設工事に伴い、平成11年～13年に発掘調査が行われた。

調査の結果、古代～近世にかけての遺構・遺物がみつかった。主な遺構として、古代遺構面における溝・築地塀による正方位の区画跡と、これに囲まれた建物跡や炉状遺構、中世遺構面における炉や土器焼成窯の遺構などがある。また、古代遺構面において出土した三彩陶器や羊形硯は、出土例が極めて稀であり、遺構の存続時期が長いことなどから、古代遺構面で検出された、柵と溝または築地塀で仕切られた区画と建物は、国府レベルの官衙関連遺構であるといえる。区画外には炉状遺構や坩堝を廃棄した土壌があり、内部から瓦塔や泥塔、大量の灯明皿や瓦が出土しており、工房を伴う寺院的性格の官衙であった可能性が高い。

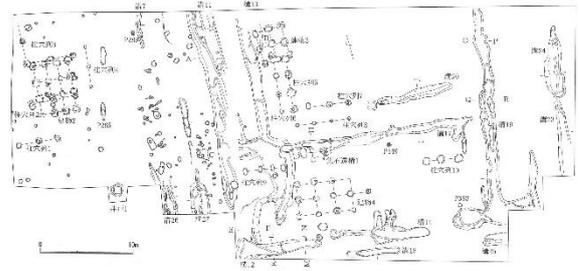
ハガ遺跡は、備前国府域内の構造を復元するための極めて良好な手掛りであるとともに、備前国府中枢である正庁の位置を追求するための重要な基点となる遺跡であるといえる。

【参考】 草原孝典 2004『ハガ遺跡』岡山市教育委員会

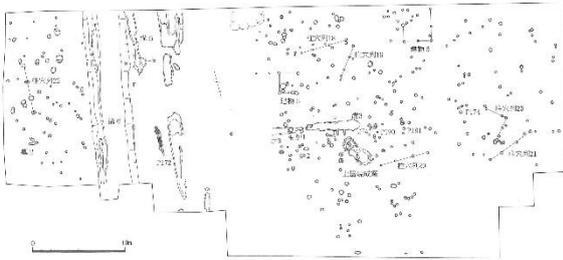
【交通】 JR 高島駅から徒歩約 20 分



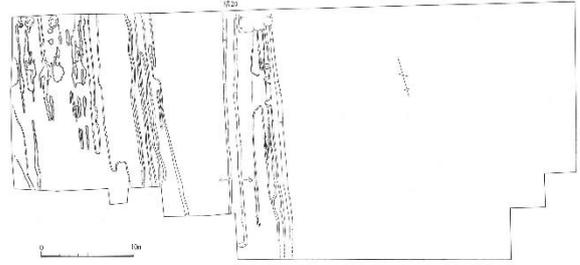
古代 (7世紀)



古代 (8~12世紀)

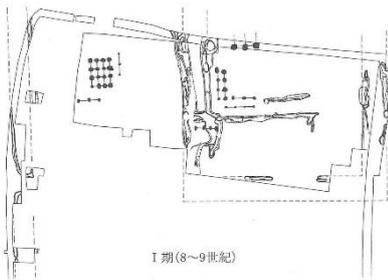


中世 (13~16世紀)

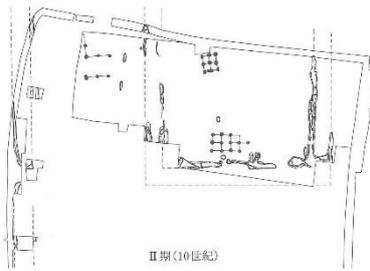


近世 (17世紀以降)

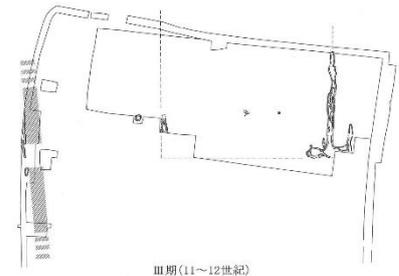
図2：時代ごとの遺構検出状況



I期(8~9世紀)

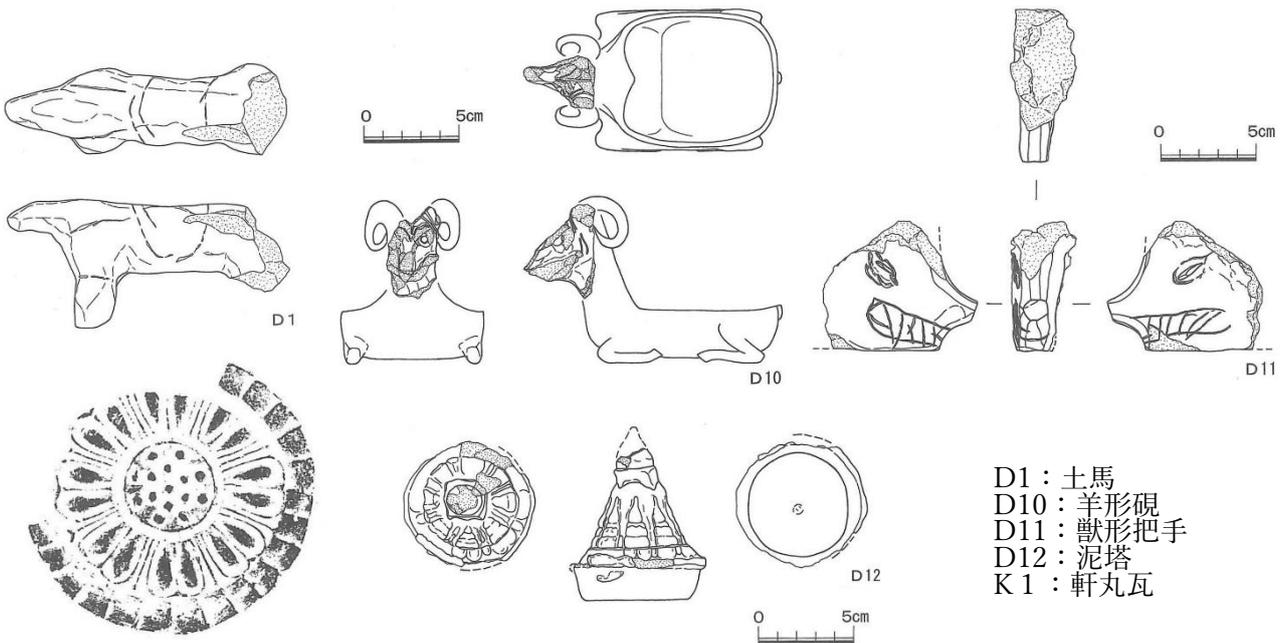


II期(10世紀)



III期(11~12世紀)

図3：古代(8~12世紀)の遺構の変遷



K1

- D1：土馬
- D10：羊形硯
- D11：獸形把手
- D12：泥塔
- K1：軒丸瓦

図4：主な出土遺物